

近畿進交会会報

第79号

令和6年5月8日

しんこう

(題字：植田美夫)

発行人 麻野広行
編集人 大井 孝
大上正通 塚本義久
井原幸治

令和5年度「集い」にて
野々山隆幸横浜市名誉教授の特別講義開催さる！

令和5年度 近畿進交会の集い ご報告

(日時) 令和5年11月12日(日) 12:00~15:00

(会場) 大阪新阪急ホテル 2階



令和5年度 近畿進交会「集い」 於 大阪新阪急ホテル



近畿進交会「令和6年度年頭ご挨拶」

近畿進交会会長 麻野広行



会員の皆様には、日頃から近畿進交会の活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。元日に発生した能登半島地震によりお亡くなりになられた方々や被災された方々にお見舞い申し上げます。

さて、近畿進交会活動の目的は会則第4条・第5条より会員相互の親睦を図るとともに、母校との連絡・情報交換を目的としております。そのために機関紙「しんこう」の発行や会員相互の親交を温める場として年1回「集い」を開催しております。一方で会員の皆様には、この会の運営費として毎年三千元のお振込みをお願いしております。集まった資金は会報発行のための経費として、また諸活動の経費として有意義に活用させていただいております。ご協力いただいた皆様には、紙面をお借りして心よりお礼申し上げます。

ここで、近畿進交会活動の現状についてお話させていただきます。

個人情報保護法の影響もあり、関西在住の卒業生の把握があいまいであったり転居されたら連絡先が

閉ざされたりという状況にあります。また、会の活動に賛同して会費を振り込んで頂いている年齢構成は、1970年までの方々が60%で1988年まで30%平成卒以降で10%となっています。

2025年問題として団塊の世代が後期高齢者の仲間入りをします。今まで同窓会活動や地域活動に興味を持っておられなかった方々も退職された後、近畿進交会に参加することで自分の時間を満喫する一助になればうれしく思います。

また、現役で忙しくされておられる方々には近畿進交会が一服の清涼剤・情報交換の場となれるよう企画してまいります。そのためには、幹事の方々が16名ですが25名まで増やしていきます。また、女性幹事も広く募集します。

最後に会としての標語「共感ネットワーク」についてです。

「共感」こそが「強さの源」だという。他者に自分を見出し、その苦境に寄り添うほど忍耐や知恵、決断力を活かせる。

「ナチュラル・ボーン・ヒーローズ」(C・マクドゥーガル)より

～令和5年度近畿進交会「集い」に おける来賓の方々のご挨拶～ 横浜市立大学理事長 小山内いづ美様



「研究の横浜市立大学」を強調され、国策にかなった“ヘルスウェルビーイング”を指向し、卓越大学としての審査を受けている最中とのことをご披露され、応援をよろしく願いますとのことであった。

浜大会会長 金子延康様



Y校と浜大が同じルーツであることを紹介されると同時に、高校と大学の同窓会が一緒でないほうが良いとの意見から3年前より「進交会報」もY校版・市大版に分けられているとのこと。従って、同窓会組織も「Y校会」と「浜大会」となっており、「進交会」のもと、進交会館の有効利

用を促され、また、「浜大会」としても、会員相互の交流、大学・学生への支援、地球・地域の持続的発展への貢献等強調され、同窓会というソフトインフラストラクチャーを有効に盛り上げていこうと呼びかけられた。

横浜市立大学広報課長 上村一太郎様



研究中心の大学としての特色を発揮するべく、また、来る創立100周年へ向けてのプロジェクトを推進するために、全学をあげて取り組んでいるとのこと。昨年の「近畿進交会の集い」の後、多くの方々より真心のご寄付をいただき感謝申し上げますと同時に、今年も更なるご支援をいただければ幸いのご依頼をいただいた。

野々山名誉教授の特別講義の概要(レジメより抜粋)

セブン&アイ・ホールディングスの経営戦略

～「多角化」から「選択と集中」へ～

○はじめに

- ・新しく事業を開始することを創業といい、最初はその事業を開始した人を創業者という。
- ・イトーヨーカドー、デニーズ、セブン-イレブンの創業者は、セブン&アイ・ホールディングス名誉会長であった伊藤雅俊。
- ・伊藤雅俊は、横浜市立横浜商業専門学校（Y 専、現横浜市立大学）を卒業。

○伊藤雅俊

- ・1924年（大正13年）4月30日、東京生まれ。2023年（令和5年）3月10日、死去（98歳）。
- ・1937年（昭和12年）4月、東京市立芝商業学校入学。
- ・1942年（昭和17年）4月、横浜市立横浜商業専門学校（Y 専）入学。1944年（昭和19年）12月、繰り上げ卒業。
- ・イトーヨーカドー、デニーズ、セブン-イレブンなどイトーヨーカ堂グループの創業者。セブン&アイ・ホールディングス名誉会長。
- ・戦後日本の流通業界を代表する経営者。

○「多角化」

- ・新市場の開拓や新製品の開発など、新事業分野に進出する経営戦略のこと。

□経営戦略は、営業目的を達成するための方針のこと

- ・イトーヨーカ堂の国際業務提携による「多角化」
□1973年（昭和48年）11月、ファミリーレストランチェーン米 Dennys と技術援助契約を結び、(株)デニーズジャパンを設立、コンビニエンスストア7-Elevenを運営する米 Southland Corporation とエリアサービスおよびライセンス契約を結び、(株)ヨークセブン（現セブン-イレブン・ジャパン）設立。

○セブン&アイ・ホールディングス

- ・2005年（平成17年）9月に設立された持株会社。
- ・「セブン」は7つの主要事業領域を表す。
 - コンビニエンスストア（セブン-イレブン）。
 - 総合スーパー（イトーヨーカドー）
 - 百貨店（そごう、西武百貨店）。
 - 食品スーパー（ヨークフーズ）。
 - フードサービス（デニーズ）

□金融サービス（セブン銀行）

□IT/サービス（ネットショッピングのセブンアットアイ）

- ・「アイ」は innovation の「i」と「愛」を表す。
- ・「セブンイレブン・ジャパン」とイトーヨーカ堂」の意味が含まれている。

○「多角化」から「選択と集中」へ

- ・セブン&アイ・ホールディングスは「多角化」から「選択と集中」へ、経営戦略を転換。

□「選択と集中」は、特定の事業分野を「選択」しそこに経営資源を「集中」する経営戦略のこと。

□ヒト、モノ、カネ、情報は4大経営資源。

- ・コンビニエンスストア事業を「選択」し、経営資源を「集中」する。

○おわりに

- ・セブン&アイ・ホールディングスの社是

□私たちは、お客様に信頼される、誠実な企業でありたい。

□私たちは、取引先、株主、地域社会に信頼される、誠実な企業でありたい。

□私たちは、社員に信頼される、誠実な企業でありたい。

- ・伊藤雅俊と横浜市立大学…奨学生・成績優秀特待生

○主要参考文献

□伊藤雅俊[2003]『伊藤雅俊の商いのこころ』
日本経済新聞社

□伊藤雅俊・末村篤[2018]『遺す言葉』
セブン&アイ出版

□齊藤毅憲[2021]『Y 専の歴史—横浜市立大学の源流』
春風社

□各社のURL

「集い」に参加された野々山ゼミ生の方々



「近畿進交会の集い」に参加して

白石進(昭39商)



去る11月12日(日)令和5年度近畿進交会総会および「集い」に初めて参加させていただきありがとうございました。家族の事情で現在三重県津市に居住している私にとりまして、いろいろなご縁に感謝しております。

進交会報第89号の麻野会長の支部だよりを拝見し、野々山名誉教授(以下教授と称させていただきます。)の特別講義があることを知り、即座に麻野会長にご連絡し参加するご了承を得ました。昭和39年卒の私は商学部、山田長夫ゼミ、クラブは硬式野球部でした。

野々山教授が硬式野球部の3代目の部長をされていたころ、OB会の幹事をしていた私は、OB会の活性化を図るために教授のアドバイスをいただきながら活動した思い出がありました。ご無沙汰をしておりましたので、ぜひお会いしたく会への参加をさせていただきました。

初参加で戸惑いもあった私でしたが、麻野会長、植田相談役からご挨拶をいただき瞬間からほっとした気持ちになりました。近畿支部全体の和やかな雰囲気を感じました。また会幹事皆様のご配慮でテーブルは、野々山教授隣席、周りは野々山ゼミの皆さんでした。和気あいあい野々山ゼミの楽しかったであろうことを思い起こさせました。教授のヨーカ堂伊藤社長のお話は、私の30代の頃の記憶を呼び起こしてくれました。お会いしたことのある温和な社長の面

影が浮かびました。また会員酒瀬川さんからは、高校時代のチームメートの話をお聞きしました。同級生は、私と共にプレイした仲間、進交会古屋理事長もそのおひとりでした。

私が卒業した年は、10月10日に第18回東京オリンピック大会が開幕し、経済力で日本が先進国への仲間入りした大きな節目の年でありました。

三重の地では知り合いもなく、まして母校の卒業生にお会いすることも生活に、また新たな出会いとご縁ができました。近畿支部の皆様へ感謝です。今後ともよろしく願い申し上げます。

令和5年度近畿進交会「集い」出席者

【Y校】 昭35 内田正雄 昭38 酒瀬川裕

【商学部】 昭34 植田美夫 昭37 出射靖郎

昭39 白石進 昭40 小林博 富田俊三 日隈中

昭40 岡崎俊太郎 飯田裕康 昭46 森岡章

昭48 大塚達夫 昭49 竹田博 昭50 麻野広行

昭50大井孝 昭51 柳敏夫 昭52 川戸眞吾

昭57 西村裕 昭58 塚本義久 平01 松本誠

平06松野友明 平09入江(下里)ゆう 平13大西正泰

【文理学部】 昭37 竹山喜盛 昭41 奥村忠道

昭53 三木得生 昭56 大上正通 平07 古内秀樹

【医学部・看護学部】 昭51 牧一郎

以上33名

近 畿 進 交 会 サ ー ク ル 活 動 (令和5年度)

第3回歩こう会

環濠自治都市・『平野郷』めぐり

内田正雄(昭35Y校)



今回は北西から奈良街道(大和街道)、南北から八尾街道が通り、古くから交通の要衝であった『平野郷』を歩きました。また平野郷は平安時代の征夷大将軍坂上田村麻呂ゆかりの地で、裕福な環濠都市でした。そして「大塩の乱・平八郎」とも所縁の深い地です。

10月28日(土)絶好の「まち歩き」日和の午後、8名のメンバーJR平野駅を出発。環濠で囲まれた

平野郷は13ある木戸の傍らに地蔵堂を設け、郷民は一身の加護と凶事の退散を祈りました。『馬場口地蔵』はそのひとつです。すぐ近くにある『大念佛寺』は融通念仏宗の総本山で大治2(1127)年良忍が鳥羽上皇の勅願で創建。本堂は大阪府下最大の木造建築と云われ、南門は元古河藩陣屋門からの移築です。また、5月に行われる「万部おねり」も有名で多くの人出で賑わいます。『長寶寺』は平野郷開発領主で郷名由来でもある、坂上広野麻呂(坂上田村麻呂の次男)の妹(春子=桓武天皇の妃)が開創。本尊の十一面観音像は坂上田村麻呂の守護神として伝わります。

商店街の中ほどにある『全興寺』の住職は郷の活性

化を進める「平野 町ぐるみ博物館」グループの中心的人。「駄菓子屋さん博物館」、湛慶作と伝えられる「太子の像」、「地獄堂」などがありました。またトイレ休憩を兼ねて時間を取り、100円で「鬼ハンターライセンス」を購入し、「地獄」から「極楽」へのコースを体験して楽しみました。

『かたなの博物館』本業は「御刀研處 真澄庵」という御刀の研ぎや鑑定をする仕事です。博物館では初心者講座や会社・学校での講演もしています。

御刀にまつわる言葉「もとの鞆に収まる」「抜き打ち」「焼きを入れる」「自腹を切る」など色々ありますね。

商店街を抜け国道を渡ったところに『古河藩陣屋跡の碑』があります。古河藩は下総の譜代大名ですが、平野郷にも飛領地がありました。「大塩の乱」の時代の藩主は土井大炊頭利位で、大坂城代として「乱」を鎮めた功などにより、後に老中首座に就任、幕府の中樞として活躍します。



東に進むと『杭全神社』があります。広野麻呂の子当道がスサノオノミコトを氏神して祀ったのが起源。境内には樹齢850年以上と推定され、大阪府の天然記念物に指定されている樹高20mの樟があり圧倒されます。また100基以上の石灯籠、三十六歌仙の額が掛かる連歌所など見どころが豊富です。

神社の横手から『平野郷環濠跡』が平野駅に進む方向で300mほど残り、豊かな平野郷を偲ばせてくれます。環濠都市・平野を囲む豪は内側には土居が築かれ、所によっては二重になっていたそうです。

ここで一応解散しましたが、参加者全員で「反省会」と称し居酒屋で疲れを取り除きました。

落語を聴く会を振り返る

牧一郎 (昭 51 医)



「落語を聴く会」は近畿進交会の会員親睦の目的で、令和4年から活動を始めました。以前から活動しているゴルフ同好会に続いて、歩こう会とほぼ同じ時期の開始となり、現在は近畿進交会のサークル活動の一つとなっています。

竹田幹事が笑福亭松枝師匠と親しい関係で、最初

の2回は笑福亭松枝師匠が出演された寄席を聴きに行き、松枝師匠には会の顧問に就任していただいています。

現在まで6回開催(下表)しており、毎回5~10名の参加となっています。

年3回程度開催しており、落語を楽しんだあとは短時間ですが、打ち上げの会を開いています。お酒を飲みながら落語について話をする事、時には噺家さん(松枝師匠や志の春師匠)とご一緒させていただいて、落語について色々とお教えいただいたことも楽しい記憶として思い出されます。

	開催日	場所	備考
第1回	令和4年6月17日	繁昌亭	笑福亭松枝師匠
第2回	令和4年7月2日	たなみん寄席	笑福亭松枝師匠
第3回	令和4年11月26日	繁昌亭	笑福亭仁智師匠
第4回	令和5年6月24日	神戸喜楽館	桂春若師匠 他
第5回	令和5年9月24日	繁昌亭	笑福亭鉄瓶師匠 繁昌亭大賞奨励賞 受賞記念
第6回	令和5年12月2日	うえほんまち 銭屋ホール	立川志の春、 志の太郎二人会

最初は寄席を中心に会を開いてきました。繁盛亭、神戸喜楽館はともに上方落語協会が運営しており、落語だけでなく漫才、漫談、紙切りなども演目に含まれていて、落語を聴くのが初めてでも上方演芸を気楽に聴ける雰囲気がありました。



これに対して、第6回の二人会は落語だけで構成されており、雰囲気が違いました。江戸落語なのか立川流であるためか、寄席で観た上方落語と違って勢いのある落語という印象でした。こういう会(ホール落語というそうです)は寄席とは違って噺家さんがやりたい噺を高座にかけるため噺家さんの色が出やすいといわれていますが、寄席とは違うものだなと思いました。

これからは、このようなホール落語も交えて、様々な落語の楽しみを追いかけていきたいと思っています。ご興味がある方はぜひご参加ください。

「ゴルフ同好会」報告



去る10月26日、抜けるような秋晴れのもと、茨城国際ゴルフ倶楽部にて、ゴルフ同好会メンバーによる、ゴルフコンペが行われた。参加者は、植田さん、出射さん、中村さん、富田さん、城島さん、麻野さんの6名の方々。

トピックス

令和6年(一社)進交会新年懇親会出席の報告

近畿進交会会長 麻野広行

(一社)進交会新年懇親会が5年ぶりに開催され、近畿進交会からは麻野会長と塚本事務局長が出席しました。



1月27日(土)11時より崎陽軒本店に、Y校と浜大会の100人を超える卒業生が一堂に会し盛大に催されました。古屋進交会理事長(Y校

38年卒・市大43年卒)からは、進交会館の建て直しを決定した経緯と様々な困難を乗り越えた卒業生の貢献があったことのお話がありました。相原市大学長からは、日頃からの大学への協力に感謝の言葉が述べられたあと、来年度は学長が交代すると発表されました。アトラクションでは、横浜市立大学混声合唱団の歌声を聴かせてもらいました。同じテーブルには、正田名古屋支部長と竹ノ内名古屋次期支部長と川島千葉支部長と桑原進交会常務理事たちと同席になりました。また、福引抽選会では塚本さんが見事、理事長賞を獲得しました。最後に校歌斉唱にて散会となりましたが、帰りには能登半島大地震・大災害への義援金を納めました。



浜大会大交流会



11/4(土)15時より横浜市大シーガルセンター1階にて浜大会大交流会が開催され、近畿進交会より川戸副会長が出席しました。

令和5年度近畿進交会「集い」返信葉書コメント

植田美夫 昭34商：10/1～全日本ベテランズ選手権大会が博多で行われ今年も出場します。昨年は決勝で敗れ準優勝でしたが今年は頂点を目指して頑張りたいと思います。

内田正雄 昭35Y校：先日の落語を聴く会に参加しました。楽しかったです。

山口昌志 昭36商：2ヶ所の癌。手術を受けその後再発もなく健康に過ごしています。

出射靖郎 昭37商：年々衰えてきていますが元気です。
竹山喜盛 昭37文理：人生100年時代。残り少なくなってきました。ダイアビーツィスとの戦いです。ゴルフは体力的に困難になりつつあります。落語は聴覚的に困難になりつつあります。ということで「歩こう会」に〇。

白石進 昭39商：野々山教授とは、教授が硬式野球部部長をされていた頃、現役をバックアップするため野球部OB会幹事として教授とたびたびお会いし、ご相談させていただいたことがありました。最近お会いすることなく、野球部の会報にて近況を知ることのみで今回の機会にぜひお会いいたしたくメールをいたしました。

岡崎俊太郎 昭40商：元気にしております。地域、会社OB会で活動しています。

小林博 昭40商：80歳になり、毎日ブラブラ暮らしています。

富田俊三 昭40商：ゴルフ同好会現在参加中。新メンバー歓迎。

奥村忠道 昭41文理：腰痛の症状が慢性化しており難儀しております。傘寿の年に突入し身体の廊下も更に進展しているところです。

森岡章 昭46商：後期高齢者となりましたが、家内の喜ぶ「そば打ち」と笑いを求めて「落語」にはまっています。

麻野広行 昭50商：幹事の皆様、当日よろしく。

大井孝 昭50商：元気に集えることを楽しみにしております。

大上正通 昭56文理：在学中に撮影した大量の写真、ネガをスキャンしてデジタル化しています。同時に人生を整理整頓しています。少しでも世に貢献できる活動、ボランティア活動をしては…。

西村裕 昭57商：「しんこう」で野々山先生の写真を見つけてメールいたしました。たまたま関西出張があり、特別講義に出席できないかと連絡いたしました。

松本誠 平1商：楽しみにしています。

古内秀樹 平7文理：いつもありがとうございます。なかなかお役に立てず申し訳ございません。当日はよろしく願いいたします。

入江ゆう(下里) 平9商：楽しみにしています。

木村勝彦 昭33商：やや体調低調のため。ご盛會を祈ります。

関敏光 昭33商：歳相応に元気です。脚力が落ちりハビリ中です。

朝井幸洋 昭34商：歳相応ですが、なんとか元気になっております。ご盛會を祈ります。

戸田丈夫 昭35商：76歳までの勤務でその間できなかったこと＝家事手伝い、ゴルフ月3回、北海道スキー一年1回、四国松山への墓参、ドライブ年3回を実行し楽しんでいます。

中島裕 昭35商：相変わらずキビシイ腰痛に泣いています。

西尾健 昭35商：コロナが収まらず、京都北山の裏側（北側）の岩倉の小盆地に籠もったままで過ごしています。我々老人には5類に移行しても感染の恐ろしさは変わりません。

小野甫夫 昭36商：昨年秋肺動脈瘤を手術。昨年も進交会欠席。今年も体調悪く。

柿花和夫 昭36文理：なんとかやっております。

久保正寿 昭36文理：会での皆様との出会いも前回までとなりました。これからのご発展を心から望んでいます。

坂上晋太 昭36商：運営費払込票届いていません。

原洋志 昭36文理：オクターブ下げて何とか年金にフィットしています。足腰は弱ってきましたが口だけはまだ達者です。盛会を祈念しています。

板倉光一 昭37商：歩行困難。今年をもって退会いたします。進交会の益々の発展を祈念いたします。

高木敏幸 昭37商：足が弱くなってサークル活動には参加できませんが「しんこう」は毎号楽しく拝読しています。幹事役の諸兄には感謝します。

十時弘 昭37商：読書と囲碁で過ごしています。

竹下尚子（桜井） 昭38Y校：会報をいつも送っていただいておりますが、もう進交会に出席することはありませんので送付の中止をお願いいたします。

津田義則 昭38医：7月より午前のみ診療としました。11月12日は妻も参加します。

中原悠司 昭39商：11月は3年、4年ぶりの開催が多く、本会翌日早朝に市大ワンゲルOB会に早朝参加出発します。

青柳秀克 昭40文理：野々山先生のお話楽しみです。例年通り飛び入り余興で協力（3分程度）させていただきます。蟹蹙ものですが、“やれやれ”の声も少しありますので。今回は急病にならないよう節制しております。

坂原修二 昭40商：休養のため。相すみません。毎日3000～5000歩を目指しています。

松田至弘 昭40商：80歳になりました。

村島正敏 昭40文理：はや82歳になりました。目下癌とバトル中です。癌に勝てませんが、負けはしません。

山本利美雄 昭40医：無為

小林光男 昭42文理：今年も12月にびわ湖ホールで「第九」を歌います。「進交会の集い」はその練習日と重なるため欠席させていただきます。

半田澄夫 昭42文理：11/24～29ナルミヤ戎橋画廊にてユース美術絵画展を行っています。ついでの折お立ち寄りください。

菅英伸 昭43商：色々な会の世話をしながら、演歌と民謡を楽しんでいます。当日は他の予定があり欠席します。盛会をお祈りいたします。

田口孝雄 昭43商：体調を崩しております。

那須一正 昭43商：昨年退会届を提出していますので確認ください。

廣内楨介 昭43商：まだ仕事を続けています。当日開催が重なり欠席させていただきます。野々山先生の講義、要約版を「しんこう」に掲載していただだけませんでしょうか。

泉善高 昭44商：いつも有難うございます。小生、大病を患いまして今月をもって脱会させていただきます。

後藤隆雄 昭44商：体調すぐれず、今回も欠席とさせていただきます。

佐藤洋子 昭44Y校：仕事を続けて元気に過ごしております。

三善慎一 昭45商：コロナ以来出不精になりましたが、元気にやっております。

岡崎智 昭46商：ウォーキング、畑づくり等で体力を維持しています。

森田浩一 昭46文理：毎朝のラジオ体操の会場に出かけています。中学生の孫が卓球部に入って、嬉しく思います。

森山茂 昭46商：元気でおります。後期高齢者の一人となった今、これからの生き方を考えています。

加藤俊勝 昭47商：昨年から実家の仕事を手伝いに秋田に単身赴任しています。当日は残念ながら出席できません。

清水薫 昭47商：皆さんに宜しくお伝えください。

岡田久子 昭50一看：家族の介護に時間をとられています。施設には入所していますが状態が安定せず神戸を離れられない状況です。皆様によるしくお伝えください。

原田英昭 昭56文理：昨年に引き続きよろしくお祈りします。

船口勝一 昭57商：2023年4月に総合ビルメンテ会社へ就職。東京、大阪半々の生活をしています。進交会の集い盛会をお祈りいたします。

細野真嗣 昭58文理：欠席させていただきます。

佐々木亜以子 昭63文理：近所でひとり暮らしの母の世話に通う毎日です。近くに住む母親の世話に行ったり来たり毎日です。ご盛会をお祈りしております。

北見龍彦 平6商：税理士をしております。

西崎真弓 平7商：当日別の用事があり欠席させていただきます。

幹事会報告

令和5年度 近畿進交会第4回幹事会議事録

日時・場所：令和6年2月3日（土）13時～16時

出席者：麻野・三木・大井・塚本・植田・内田・牧・竹田・田邊

- ① 特別講義を企画して新しい参加者・平成卒の方が増えたことで、今後も継続する。
- ② 令和4年・5年の集いの新規参加者への継続アプローチを事務局にて担当する。
- ③ 年会費未払いの方に当日支払いをお願いしているが、案内にて事前にお知らせするか当日の会費にて処理するか継続審議とする。
- ④ 女性会員や平成卒会員に会費納入をお願いするよう年度幹事を増やす。

◎令和6年度「近畿進交会の集い」について

令和6年11月17日（日）12時～15時

場所：大阪キャッスルホテル

市大名誉教授の特別講義：齊藤毅憲名誉教授

（元商学部長・経営学教育研究）

~~~~~

## 会員異動・お便り

ご逝去 西村芳穂 昭25 Y校 大嶋進治 昭36商学部(令和5年2月2日)  
増田達也 昭36文理学部(令和3年3月) 奥田裕 昭43商学部(令和4年12月)  
退会希望 久保正寿 昭36文理学部 板倉光一 昭37商学部 竹下尚子 昭38 Y校 泉善高 昭44商学部  
長年におわたる会へのご協力、本当にありがとうございました。

転居先不明 鈴木康彦 昭42商学部 松岡英子 昭44 Y校 三宅哲二 昭44商学部 島里奈 令4国際総合科学部  
原田大生 令5国際商学部

※転居される場合は近畿進交会事務局へご一報いただきますようご協力お願いいたします。

事務局連絡先：〒635-0834 奈良県北葛城郡広陵町大塚 621 塚本義久

TEL 0745-55-2252 e-mail ztazh99238@yahoo.co.jp

~~~~~

令和5年度後半 運営会費 納入者ご芳名

商学部 昭34竹内義勝 昭35西尾健 昭36小野甫夫 昭39中原悠司 昭40飯田裕康 昭43廣内禎介 昭46森岡章
昭47村井茂至 昭49竹田博 昭51柳敏夫 昭56中津川晴通 平1松本誠 平6松野友明 平7西崎真弓 平9入江ゆう
平13大西正泰

文理学部 昭39柿花和夫 昭40青柳秀克

医学部 昭51牧一郎

～令和5年度の会費納入者は、12月7日現在88名です。～

会員の皆様ご協力ありがとうございました

~~~~~

### 「運営会費」納入のお願い

近畿進交会の令和6年度「運営会費 3,000円」を同封の郵便局「払込取扱票」にてお振込みしていただきますよう、お願い申し上げます。(本部からの「進交会報」とは、別途のご案内となっております。)

近畿進交会の活動を継続していくために、会員の皆様の積極的ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 編集便り

機関誌「しんこう」は会員の皆さまのご協力で編纂しております。「日頃思っていること」、「わが町の自慢話」、「学生時代の思い出」「趣味・娯楽に関すること」等、なんでも結構ですので、気軽に投稿してみてください。原稿は、下記編集子までメール送信してください。

大井宛 携帯：090-1021-7574 MAIL: taka236428@kcn.jp

大上宛 携帯：090-3708-8674 MAIL: masamichi.oue.0001@gmail.com

井原宛 携帯：080-4233-1013 MAIL: iharak@hb.tp1.jp

なお、郵送の場合は、下記住所あてお送りください。

〒610-0343 京都府京田辺市 大住仲ノ谷 2-1 2

大井 孝 宛

近畿進交会 令和6年度「集い」開催予定  
**2024年11月17日(日) 12時～15時**  
大阪キャッスルホテルにて  
齊藤毅彦横浜市大名誉教授の特別講義予定

